

2009(平成21)年度

第3回光ディスク懇談会プログラム

日 時 : 平成21年9月18日(金) 13:00~17:00

場 所 : 機械振興会館 研修-2(地下3階) 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 電話:03-3434-8216

テーマ : ヘッド/デバイス/ホログラム

幹 事 : 長谷川(富士通研究所)／応和(ソニー)

時間	演 題	講 師・会 社・所 属
13:00 13:55	1. 光ディスクに成長シナリオは描けるか Can draw up the growth scenario for optical disc?	松本 郁夫(マツモト イクオ) 坂田 恵美子(サカタ エミコ) 株式会社ふじわらロスチャイルドリミテッド
	リーマンショックにより落ち込んだ光ディスクドライブの生産が回復している。しかし、光ディスクの今後にはこれまで以上に厳しい状況が待ち受けてもいる。今こそ光ディスクの成長戦略を描かねばならない時である。可能であろうか。	
13:55 14:45	2. ホログラム技術の最新動向(仮題)	志村 努(シムラ ツトム) 東京大学生産技術研究所 教授
14:45 15:15	* * * コーヒー ブレイク * * *	
15:15 15:50	3. 熱アシスト磁気記録用光学系の開発 INTEGRATED OPTICAL SYSTEM FOR THERMALLY ASSISTED MAGNETIC RECORDING	松本 拓也(マツモト タクヤ) 株式会社日立製作所 中央研究所
	熱アシスト磁気記録は、光記録と磁気記録を融合させた技術で、1Tb/in ² 以上の記録密度を実現する方式として期待されている。本講演では、この記録用に開発した光学系について説明する。	
15:50 16:25	4. フォトニック結晶偏光素子アレイと計測システムへの 応用 Analizing systems utilizing photonic crystal array	佐藤 尚(サトウ タカシ) 株式会社フォトニックラティス
	自己クローニング型フォトニック結晶は軸方向の異なる偏光子や波長板をモノリシック集積することが容易である。それらを受光素子アレイと組み合わせた各種計測システムへの応用について紹介する。	
16:25 17:00	5. 液晶を利用した新世代ノンメカニカルスキャナー Replacing Opto-Mechanics with Opto-Electronics: A New Electro-Optic Waveguide Architecture	山本 宏(ヤマモト ヒロシ) オーテックス株式会社 営業1部 営業課
	旧来のポリゴンスキャナー、ガルバノスキャナー、AO・EO偏光器に替わる新世代液晶ノンメカニカルスキャナーを、図解等を使いわかりやすくご紹介いたします。	